

5

**みんなが主役で  
創るまち**

## ① 住民が創るまち

### 行政区活動の支援

1766万円

(担当：住民課住民活動グループ)

行政区の自主的で特色のある活動（提案事業）を通じて、地域の結びつきを強くし、住み良い地域づくりを目指すため、また、行政区と町がお互いに協力し合い、役割と責任を分担しながら行う活動（協働事業）を支援するためのお金を交付しました。

#### 【提案事業】

- ・地域環境整備 …花壇整備など (7件)
- ・コミュニティー推進…会館の利便性向上 (2件)
- ・防災・安全安心 …非常食の備蓄など (5件)
- ・区民研修 …施設や企業の視察 (2件)
- ・文化づくり …盆踊り、子ども神輿、演芸会など (5件)



区民研修で徳富ダム視察

#### 【協働事業】

(すべての区)

(該当する区のみ)

- |              |             |          |
|--------------|-------------|----------|
| ・防犯灯の維持管理    | ・公衆トイレの維持管理 | ・公園の維持管理 |
| ・ゴミステーションの除雪 | ・町有地の草刈り    | ・道路清掃    |
| ・広報しんとつかわの配布 | ・墓地の草刈り     |          |

### 総合計画の策定

200万円

(担当：総務課企画調整グループ)

総合計画は、10年後のまちの姿を見据え、その実現に向けて行動するための長期計画です。

平成14年度にスタートした第4次の総合計画が平成23年度に目標年次を迎えることから、新たなまちづくりの指針として「新十津川町第5次総合計画」を策定しました。

計画の策定には、高い専門性を必要とする部分もあることから、総合コンサルティング会社の手を借りながら進めました。



## ② 効率的な行政を進めるまち

### 職員の研修派遣

218万円

(担当：総務課総務グループ)

新十津川町人材育成基本方針に基づき、職員の能力向上を図ることを目的として、各種研修に職員を派遣しました。

派遣先は自治大学校や市町村職員中央研修所、北海道市町村職員研修センター、北海道空知町村会などで、内容は職位に応じた階層別の研修や課長職が派遣職員を指名する専門技術に関する研修のほか、職員自らが研修先を選択して学習の機会を設ける自主研修を実施しました。

また、雨竜町と共同で開催した研修会では、危機管理能力のスキルアップを図りました。

#### 【研修派遣実績】

階層別研修	自治大学校	3人
	北海道市町村職員研修センター	10人
	北海道空知町村会	4人
指名研修（専門技術に関する研修など）		5人
自主研修		7人
合 計		29人



### 十津川村災害見舞金

5000万円

(担当：総務課総務グループ)

昨年8月末から9月初旬にかけて、本町の母村である奈良県十津川村は、総雨量が2,000mmを超える記録的な豪雨に見舞われ、死者7人、行方不明者6人、重傷者3人、道路崩壊180カ所、全壊家屋18棟、半壊家屋30棟、床下浸水14棟、山腹崩壊260haという大災害となりました。

町は、明治22年8月の豪雨以来となる今回の大災害に対し、十津川村に災害見舞金を贈りました。

#### 【新十津川町の動き】

- ・ 9月9日 十津川村緊急支援対策会議を開催
- ・ 9月18日 町職員3人を十津川村へ派遣
- ・ 10月13日 植田町長が十津川村を訪問し、見舞金の目録を届ける（写真）
- ・ 10月17日 義援金第1次分を送金 1587万円
- ・ 1月6日 義援金第2次分を送金 348万円
- ・ 5月19日 十津川村で復興大会 植田町長と長谷川町議会議長が参列

